

令和 8 年度 学 探究科

教科	学 探究科	科目	(学) 探究ナビ I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主制作課題、プリント、など。						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

探究ナビ I のテーマ：人とつながる

「生きる力の基礎（社会人基礎力）となるコミュニケーション能力を育成する。」
 アイスブレイクによって人とつながる力、また、コミュニケーション能力の基礎となる「話す」力や「聴く」力を身につけ、それらを基盤としながら課題を「見つけ」「調べ」「まとめ」「伝える」力を育てます。そしてお互いの「存在の肯定」と「対話」によって生み出されたものをチームで「表現」することに挑戦します。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】

「アイスブレイク」や「コミュニケーション基礎」、「コミュニケーション応用」の基礎知識を身につけ、これからの社会で必要なことや現在の社会が抱える課題を見つける。

【思考力・判断力・表現力等】

課題を解決するために必要なものは何か、課題を多角的な視点で捉え、ワークや活動を繰り返しながら解決方法について探究し、お互いの「存在の肯定」と「対話」によって生み出されたものをチームで「表現」する。

【学びに向かう力、人間性等】

自己の主体性を活かしながらチームで取り組むことで課題解決ができることを体験し、驚きや喜び等の感動を課題解決の達成によって確かな自信を得て、社会の中で他者と協働しながら自己の可能性を実現していく力にする。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	探究ナビの授業内容について理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	探究ナビの授業内容について、その特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、社会の変化と関連付けて説明できる。	探究ナビの授業内容が、自己の将来において役立つ場面を具体的に想定し、他者と協働しながら、集団の中で主体的に行動することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学期	アイスブレイク	アイスブレイクを学ぶ 名前と言葉の大切さ 集団づくり	a:アイスブレイクについて理解している。 b:アイスブレイクと探究の授業の関連性について説明できる。 c:アイスブレイクを、実生活の具体的な場面で役立てることを想定できる。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	コミュニケーションⅠ (基礎)	【人間関係論】 伝えることと受け止めること 肯定的な受容と応答 他者との協働 【防災】 災害と生活 防災シミュレーション	a:人間関係論について説明できる。 b:ゲームやワークの内容を踏まえ、人間関係における提案をすることができる。 c:人間関係論の技術を、日常の人間関係の中で創造的に応用できる。	ワークシート 活動評価	ワークシート 活動評価	ワークシート 活動評価
夏休み休業期間 *キャンパスメンバーズを利用した課題に取り組む						
2 学期	コミュニケーションⅡ (応用編)	【キャリア教育】 働く意義について 適性検査と仕事調べ 仕事カルタ 就職説明会の準備 1つの職業を深く調べる 発表の準備とリハーサル 就職説明会	a:働く意義について理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。 b:働くことに関し、多面的・多角的に考察し、社会の変化と関連付けて説明できる。 c:学びを自身の仕事選びに生かせることができ、今からの取り組みを具体的に説明できる。	ワークシート 活動評価 プレゼン発表	ワークシート 活動評価 プレゼン発表	ワークシート 活動評価 プレゼン発表
	コミュニケーションⅢ (総合編)	【演劇】 演劇について 演劇ワークショップ	a:集団の成長過程について説明することができる。 b:集団の成長について、劇づくりの体験と関連付けて具体的に述べることができる。 c:集団の成長過程の理解を応用して、課題のある集団に対する見立てと解決策を提示できる。	ワークシート 活動評価	ワークシート 活動評価	ワークシート 活動評価

3 学 期	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン Ⅲ (総 合 編)	【演劇②】 劇団旗揚げと役割分担 台本作りに取り組む PDC A サイクルの活用 相互評価の活用 発表準備 クラス発表 全体発表	a: 集団の成長過程について説明 することができる。	ワーク シート	ワ ー ク シート	ワークシ ート
			b: 集団の成長について、劇づくり の体験と関連付けて具体的に述 べることができる。	活 動 評 価	活 動 評 価	活 動 評 価
			c: 集団の成長過程の理解を応用 して、課題のある集団に対する見 立てと解決策を提示できる。	パ フ ォ ーマン ス課題	パ フ ォ ーマン ス課題	パ フ ォ ーマン ス課題

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和8年度 **学** 探究科

教科	学 探究	科目	(学)探究ナビⅡ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	なし						
副教材等	ワークブック、自主制作課題、プリント、など。						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

探究ナビⅡのテーマ：社会とつながる

「社会の一員として、主体的、創造的に課題を解決する力を育成する。」

我々がめざすべき社会とはどのような社会なのか、現在の社会が抱える課題は何なのか。変化の激しいこれからの社会でどのように生きていくのかを仲間とともに考え続けます。

探究ナビⅠで身につけたコミュニケーション能力を活かし、仲間と協働することで課題を主体的、創造的に解決する力を身につけましょう。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】

「起業」や「Society5.0」の基礎知識を身につけ、これからの社会で必要なことや現在の社会が抱える課題を見つける。

【思考力、判断力、表現力等】

課題を解決するために必要なものは何か、課題を多角的な視点で捉え、調査や考察を繰り返しながら解決方法について探究し、一つの企画を提案する。

【学びに向かう力、人間性等】

提案した企画を全体で共有し、改善点や実現可能性、独創性などを検討する中で、自他の可能性の豊かさに気づき、感動を得ながら、企画をブラッシュアップさせる。

磨き上げた企画を多数の人に伝えるために効果的なプレゼンテーションを行い、自信を得る。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	探究ナビの授業内容について理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	探究ナビの授業内容について、その特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、社会の変化と関連付けて説明できる。	探究ナビの授業内容が、自己の将来において役立つ場面を具体的に想定し、他者と協働しながら、集団の中で主体的に行動することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりとともに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学 期	企 業 理 解	アイスブレイク 企業の存在価値を学ぶ 企業理解 企業理解のプレゼン発表 Society5.0 と SDGs	a:企業の価値を理解し、技術の進歩と SDGs について理解する。 b:企業の意味、技術の進歩と SDGs について説明できる。 c:企業理解に関するプレゼンを通じて、社会と企業の関係、未来の社会で自分たちがどう生きるべきかを考え、プレゼン発表をすることができる。	ワーク シート 活動 評価 振り返 りテス ト プレゼ ン発表	ワーク シート 活動 評価 振り返 りテス ト プレゼ ン発表	ワーク シート 活動 評価 振り返 りテス ト プレゼ ン発表
	企 業 研 究	オリエンテーション 就職試験を体験する 企業調べ 企業調べのプレゼン	a:ワークを通して、企業の仕組みや活動を理解する。 b:ワークを通して、企業の仕組みや活動について説明し、自らの言葉で具体的に表現できる。 c:企業調べのプレゼンを通じて、プレゼン発表に対する主体性をもって取り組むことができる。	ワーク シート 活動 評価 振り返 りテス ト プレゼ ン発表	ワーク シート 活動 評価 振り返 りテス ト プレゼ ン発表	ワーク シート 活動 評価 振り返 りテス ト プレゼ ン発表
夏休み休業期間 * アンケート課題に取り組む						
2 学 期	企 業 イ ン タ ー ン ワ ー ク (企 画 立 案)	センターホール発表企業決定 企画会議 企画のブラッシュアップ	a:指令を理解し、企画の立案に必要な知識を身につける。 b: 企画会議を通して、指令を多面的・多角的に考察し、社会の問題を解決できる企画を立案できている。 c:企画立案を通して、主体的に企画案を考案し、具体性や実現可能性をふまえながら、取り組むことができる。	ワーク シート 活動 評価 振り返 りテス ト	ワーク シート 活動 評価 振り返 りテス ト	ワーク シート 活動 評価 振り返 りテス ト

	企業 インター ンワーク (発表 準備)	プレゼン発表の準備 プレゼン発表のブラッシュ アップ 中間発表 全国大会の応募	a:立案した企画を理解し、企画の プレゼン発表に必要な知識を理 解する。 b:中間発表を通して、指令を多面 的・多角的に考察し、社会の問題 を解決できる企画を説明できて いる。 c:中間発表を通して、主体的に企 画案を考案し、具体性や実現可能 性をふまえながら、グループで協 働しながら取り組むことができる。	ワーク シート 活動 評価 振り返 りテス ト プ レ ゼ ン発表	ワーク シート 活動 評価 振り返 りテス ト プ レ ゼ ン発表	ワーク シート 活動 評価 振り返 りテス ト プ レ ゼ ン発表
3 学期	企業 インター ンワーク (発表)	発表準備 クラス発表大会 全体発表大会 全国大会 1年間の振り返り	A プレゼン発表を通して、一年間 の活動を総括する知識の習得を 理解する。 b:プレゼン発表を通して、企業探 究と社会問題の解決を関連付け て具体的に述べることができる。 c:一年間の取り組みを通して、集 団の成長過程の理解を応用して、 主体的に企業探究の課題と関連 付けて解決策を提示できる。	ワーク シート 活動 評価 振り返 りテス ト プ レ ゼ ン発表	ワーク シート 活動 評価 振り返 りテス ト プ レ ゼ ン発表	ワーク シート 活動 評価 振り返 りテス ト プ レ ゼ ン発表

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和8年度 **学** 探究科

教科	学 探究	科目	(学)探究ナビⅢ	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主制作課題、プリント など						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

探究ナビⅢのテーマ：将来につなげる

「より良い未来を実現するため、自己の希望する分野で活躍できる力を育成する。」

より良い未来社会の実現を担っていくために、自分の能力を将来どの分野で生かすのか、より良い自己や社会の実現に向かって進むべき道を仲間とともに探究し、課題発見、課題解決に取り組みます。探究ナビⅠ、Ⅱで身につけたコミュニケーション能力や課題解決能力を生かし、自己の希望する分野で活躍するための探究力を身につけましょう。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】

自己の将来や未来の社会のあり方を考えるための基礎知識を身につけ、これからの自己や社会を見据えて、解決すべき課題について理解する。

【思考力、判断力、表現力等】

より良い自己と社会の実現のために、自己のキャリアや社会的な課題を探究し、課題の解決に向けて他者と協働しながら考え、表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

自己のキャリアの形成に向けて解決すべき課題に粘り強く取り組むことや、実社会や実生活との関わりから問いを立てて探究することを通じて、未来の社会を担う一員であることを自覚し、自らの人生を主体的に創造していく態度を身につける。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	探究ナビⅢの授業内容について理解し、その知識を身につけるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	探究ナビⅢの授業内容を踏まえ、自己や社会の課題を発見し、多面的・多角的に考察したり、課題の解決に取り組んだりしながら、得た成果を説明したり、表現したりすることができる。	探究ナビⅢの授業内容が、自己の将来において役立つ場面を具体的に想定し、他者と協働しながら、集団の中で主体的に行動することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学 期	集団 作り	アイスブレイク チームビルディング メタ認知 自己調整	a: 多面的、多角的な自己理解や他者理解を することができる。 b: チームビルディングの基本的手法を体 験的に学び、実践できる。 c: 主体的に人と関わり、コミュニケーション を取ることができる。	ワー クシ ート	ワー クシ ート	ワー クシ ート
	進路 探究①自己 分析	リフレーミング 自己推薦書を書く	a: 自己理解を自己PRにつなげる方法を 理解し、文章にすることができる。 b: 自己理解を深める手法を学び、他者と協 働しながら実践できる。 c: グループワークの中で自己の新たな可 能性に気付くことができる。	ワー クシ ート	ワー クシ ート	ワー クシ ート
	進路 探究②分野 研究	志望分野について研究する 志望理由書を書く	a: 志望分野における課題を知り、課題解決に ついて考えることができる。 b: チームで役割分担をして情報収集し、ま とめることができる。 c: 志望分野についての研究に主体的に取り 組むことができる。	ワー クシ ート	ワー クシ ート	ワー クシ ート
	進路 探究③論理 的思考	面接で考えを述べる 小論文を書く 集団討論	a: 社会的課題について、解決に向けた提 案を論理的に展開できる。 b: 集団討論の中で、他者の考えを尊重しな がら自己の考えを表明できる。 c: より良い社会の実現のためにできるこ とを主体的に探究できる	ワー クシ ート	ワー クシ ート	ワー クシ ート
2 学 期	課題 研究①企画 型	広報について学ぶ 学校広報を考える 学校説明会を開催する	a: 広報に関する基本的知識を身につけ、学 校広報に応用できる。 b: チームで学校説明会を実施し、広報活動 をすることができる。 c: スクールアイデンティティを見出すた めに自ら行動できる。	ワー クシ ート	ワー クシ ート	ワー クシ ート
				活 動 評価	活 動 評価	活 動 評価
				プ レ ゼ ン 発表	プ レ ゼ ン 発表	プ レ ゼ ン 発表

2 学期	課題研究②探究型	問いを立てる 問いを探究する 中間発表会を開催する 探究を深める 研究発表会を開催する	a: 課題について知識を深め、解決すべき点を理解して、論理的に説明できる。 b: チームで課題研究やその発表会を行い、検討しあうことができる。 c: 自己の将来を見据え、主体的に課題を設定することができる。	ワークシート 活動評価 プレゼン発表	ワークシート 活動評価 プレゼン発表	ワークシート 活動評価 プレゼン発表
3 学期	反省と総括	反省と総括	a: 探究ナビⅢで学んだ内容を理解し、説明することができる。 b: 探究ナビⅢで学んだ内容を振り返り、より良い内容にするためにチームで協議して提案することができる。 c: 探究ナビⅠ、Ⅱ、Ⅲの学びを振り返り、社会や人生に応用することができる。	ワークシート 活動評価	ワークシート 活動評価	ワークシート 活動評価

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和8年度 **学** 探究科

教科	学 探究科	科目	(学) グローバル スタディーズ	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	なし						
副教材等	ワークブック、自主制作課題、プリント、など。						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

SDGs とは何か知っていますか？地球上に暮らす私たちが直面する問題は、私たち一人ひとりがそのことを知り、向き合い、考え、行動に移していかなければなりません。SDGs の理念は「誰一人取り残さない—No one will be left behind」です。グローバルスタディーズでは「世界を学ぶ」、「日本を知る」、「自分の周りを知る」と段階的に大きなスケールから自分の身の回りのことに着眼し、学ぶことによって、さまざまな課題に自分たちで見つけ、自分ごととして考え、その解決に向けてアクションを起こすために探究していきます。

2 学習の到達目標

【知識・技能】

国際社会が抱える課題について知り、SDGs を理解するとともに、自分の身の回りにある課題を見つけて学び、考え、探究したことをまとめて発表することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

様々な国の現状やグローバルな考え方を知り、異文化理解につなげ、また、課題を自分ごととして考え、その解決策について探究し、アクションにつなげることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

他者と協働し、課題を解決しようとする過程において、様々な学習活動に主体的に取り組む姿勢を身につけることができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	グローバルスタディーズの授業内容について理解し、SDGs についての理解を深めるとともに、自分たちで探究したことをまとめて発表できる。	授業内容について、自分で調べ、留学生や T-NET、NGO の方々、地域の事業所の方々から聞き取りをし、様々な課題を自分ごととして考え、自分の考えを他者と共有することができる。	授業を通して、課題の解決策について探究活動に主体的、協同的に取り組むことができ、自分の在り方や生き方について考え、行動することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学 期	SDGs	SDGs とは何か？ リサーチと発表	a:SDGs について理解している。 b: SDGs と探究について説明できる。 c: SDGs を、世界で起こっている諸問題と繋げて考えることができる。	ワーク シート プレゼン 発表	ワーク シート プレゼン 発表	ワーク シート プレゼン 発表
	異文化理解 人間関係論	バーンガゲーム T-NETによる自国についてのプレゼン 留学生との交流① 日本の学校紹介と案内	a: 海外で起こっている問題や海外の文化・習慣について理解している。 b: 海外で起っている問題や海外の文化・習慣について考え、説明できる。 c: 海外で起っている問題や海外の文化・習慣について自分事として考え、探究している。	ワーク シート 活動評価	ワーク シート 活動評価	ワーク シート 活動評価
2 学 期	海外における社会問題	フィリピンセブ島 NGO団体 Go Share からの聞き取り 留学生との交流② 留学生の出身国の紹介と抱える社会問題	a: 異文化や他の国に対する理解を意欲的に深め、発表しようとしている b 異文化や他の国に対して意見を持ち表現しようとしている c SDGs や他の国異文化に関する情報を収集し理解を深め、活用しようとしている	ワーク シート 活動評価	ワーク シート 活動評価	ワーク シート 活動評価
	日本における社会問題	日本における社会問題の リサーチとプレゼン 地域 SDGs 探究フィールドワーク	a: 日本が抱える社会問題について意欲的に考えようとしている b: 日本が抱える社会問題について情報を収集し理解を深めようとしている c: 日本が抱える社会問題について理解を深め、探究している。	ワーク シート プレゼン テーション 発表 活動評価	ワーク シート プレゼン テーション 発表 活動評価	ワーク シート プレゼン テーション 発表 活動評価

3 学期	アクションプランとファイナルプロジェクト	地域 SDG s 探究 プランニング	a：身の回りにある課題に興味を持ち、意欲的に貢献しようとしている	ワークシート	ワークシート	ワークシート
		地域 SDG s 探究 フィールドワークとプレゼン	b：身の回りにある課題についての情報を収集し、理解を深めようとしている	プレゼンテーション 発表	プレゼンテーション 発表	プレゼンテーション 発表
		校内 SDG s 探究 ファイナルプレゼン	c：身の回りにある課題に意見を持ちその解決に向けて行動しようとしている	活動評価	活動評価	活動評価
				パフォーマンス課題	パフォーマンス課題	パフォーマンス課題

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和8年度 **学** 探究科

教科	学 探究科	科目	(学) グローバル スタディーズ	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	ワークブック、自主制作課題、プリント、など。						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

SDGs とは何か知っていますか？地球上に暮らす私たちが直面する問題は、私たち一人ひとりがそのことを知り、向き合い、考え、行動に移していかなければなりません。SDGs の理念は「誰一人取り残さない—No one will be left behind」です。グローバルスタディーズでは「世界を学ぶ」、「日本を知る」、「自分の周りを知る」と段階的に大きなスケールから自分の身の回りのことに着眼し、学ぶことによって、さまざまな課題に自分たちで見つけ、自分ごととして考え、その解決に向けてアクションを起こすために探究していきます。

2 学習の到達目標

【知識・技能】

国際社会が抱える課題について知り、SDGs を理解するとともに、自分の身の回りにある課題を見つけて学び、考え、探究したことをまとめて発表することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

様々な国の現状やグローバルな考え方を知り、異文化理解につなげ、また、課題を自分ごととして考え、その解決策について探究し、アクションにつなげることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

他者と協働し、課題を解決しようとする過程において、様々な学習活動に主体的に取り組む姿勢を身につけることができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	グローバルスタディーズの授業内容について理解し、SDGs についての理解を深めるとともに、自分たちで探究したことをまとめて発表できる。	授業内容について、自分で調べ、留学生や T-NET、NGO の方々、地域の事業所の方々から聞き取りをし、様々な課題を自分ごととして考え、自分の考えを他者と共有することができる。	授業を通して、課題の解決策について探究活動に主体的、協同的に取り組むことができ、自分の在り方や生き方について考え、行動することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学 期	SDGs	SDGs とは何か？ リサーチと発表	a:SDGs について理解している。 b: SDGs と探究について説明できる。 c: SDGs を、世界で起こっている諸問題と繋げて考えることができる。	ワーク シート プレゼン 発表	ワーク シート プレゼン 発表	ワーク シート プレゼン 発表
	異文化理解 人間関係論	バーンガゲーム T-NETによる自国についてのプレゼン 留学生との交流① 日本の学校紹介と案内	a: 海外で起こっている問題や海外の文化・習慣について理解している。 b: 海外で起っている問題や海外の文化・習慣について考え、説明できる。 c: 海外で起っている問題や海外の文化・習慣について自分事として考え、探究している。	ワーク シート 活動評価	ワーク シート 活動評価	ワーク シート 活動評価
2 学 期	海外における社会問題	フィリピンセブ島 NGO団体 Go Share からの聞き取り 留学生との交流② 留学生の出身国の紹介と抱える社会問題	a: 異文化や他の国に対する理解を意欲的に深め、発表しようとしている b 異文化や他の国に対して意見を持ち表現しようとしている c SDGs や他の国異文化に関する情報を収集し理解を深め、活用しようとしている	ワーク シート 活動評価	ワーク シート 活動評価	ワーク シート 活動評価
	日本における社会問題	日本における社会問題の リサーチとプレゼン 地域 SDGs 探究フィールドワーク	a: 日本が抱える社会問題について意欲的に考えようとしている b: 日本が抱える社会問題について情報を収集し理解を深めようとしている c: 日本が抱える社会問題について理解を深め、探究している。	ワーク シート プレゼン テーション 発表 活動評価	ワーク シート プレゼン テーション 発表 活動評価	ワーク シート プレゼン テーション 発表 活動評価

3 学期	アクションプランとファイナルプロジェクト	地域 SDG s 探究 プランニング	a：身の回りにある課題に興味を持ち、意欲的に貢献しようとしている	ワークシート	ワークシート	ワークシート
		地域 SDG s 探究 フィールドワークとプレゼン	b：身の回りにある課題についての情報を収集し、理解を深めようとしている	プレゼンテーション 発表	プレゼンテーション 発表	プレゼンテーション 発表
		校内 SDG s 探究 ファイナルプレゼン	c：身の回りにある課題に意見を持ちその解決に向けて行動しようとしている	活動評価	活動評価	活動評価
				パフォーマンス課題	パフォーマンス課題	パフォーマンス課題

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度